

令和元年度卒業時満足度調査 カリキュラム編成・運用・DPについて

調査日：令和2年3月12日

卒業生数 118名 / アンケート回収数 118枚 / 回収率 100.0%

令和2年 6月3日
カリキュラム小委員会

《カリキュラム編成について》	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	まったくそ う思わない	わからない	回答なし
1 授業科目には本学の建学の精神、教育理念、教育目的・目標が反映されていた	57.6%	37.3%	3.4%	0.0%	1.7%	0.0%
2 授業科目は理解しやすい（学びやすい）順序であった	49.2%	38.1%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%
3 カリキュラムはそれぞれの科目の特性が活かされた編成であった	52.5%	39.8%	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%
4 選択科目は思い通りに選んで履修する事ができた	71.2%	22.0%	5.9%	0.8%	0.0%	0.0%
《カリキュラムの運用について》	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	まったくそ う思わない	わからない	回答なし
1 教室（講義室）の広さは適切であった	55.1%	24.6%	16.1%	4.2%	0.0%	0.0%
2 受講するクラスの人数は適切であった	47.5%	33.9%	15.3%	2.5%	0.8%	0.0%
3 教室の環境（冷暖房、机、いす、視聴覚機器等）は適切であった	44.9%	32.2%	20.3%	1.7%	0.8%	0.0%
4 試験期間の設定・時期は適切であった	52.5%	34.7%	10.2%	1.7%	0.8%	0.0%
5 1日に実施する試験科目数は適切であった	51.7%	30.5%	13.6%	2.5%	1.7%	0.0%
6 科目選択時にはシラバスの内容を確認して活用した	62.7%	25.4%	10.2%	1.7%	0.0%	0.0%
7 学生による授業評価は、自分なりに講義について振り返るなどして正確に行っていた	51.7%	31.4%	14.4%	1.7%	0.0%	0.8%
8 授業内容についての質問などで教員のオフィスアワーを活用した	44.9%	24.6%	20.3%	7.6%	2.5%	0.0%
《DPについて》	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	まったくそ う思わない	わからない	回答なし
1 多様な価値観や文化的背景を持つ人々と向き合う力を養うための幅広い教養を身につけることができた	57.6%	30.5%	4.2%	0.0%	0.0%	7.6%
2 看護に必要な専門的知識を身につけることができた	66.1%	24.6%	1.7%	0.0%	0.0%	7.6%
3 看護実践に求められるマネジメント能力の必要性を理解できた	66.1%	24.6%	1.7%	0.0%	0.0%	7.6%
4 人間を統合的に捉え、人々の健康と生活の質を高める看護を実践できる基礎的能力を身につけることができた	65.3%	24.6%	2.5%	0.0%	0.0%	7.6%
5 保健・医療・福祉関連分野の動向に関心を寄せ、看護のあり方を理解できた	67.8%	22.9%	1.7%	0.0%	0.0%	7.6%
6 専門職として生涯にわたり主体的に学び続ける姿勢を身につけることができた	64.4%	25.4%	2.5%	0.0%	0.0%	7.6%
7 赤十字の基本原則を理解し、人間の尊厳と権利を尊重し擁護する姿勢を身につけることができた	61.0%	27.1%	4.2%	0.0%	0.0%	7.6%
8 地域の人々の保健医療課題を積極的・自発的に解決しようとする能力を身につけることができた	59.3%	29.7%	3.4%	0.0%	0.0%	7.6%
9 看護者として、責任ある行動がとれる能力を身につけることができた	66.1%	22.0%	4.2%	0.0%	0.0%	7.6%
10 対象に必要な看護ケアを科学的根拠に基づき安全に実施するための技術を身につけることができた	61.9%	28.0%	2.5%	0.0%	0.0%	7.6%
11 地域住民、患者、家族、保健・医療・福祉に関わる人々と連携・協働するために必要な、相手の立場を尊重したコミュニケーション能力を身につけることができた	65.3%	24.6%	2.5%	0.0%	0.0%	7.6%

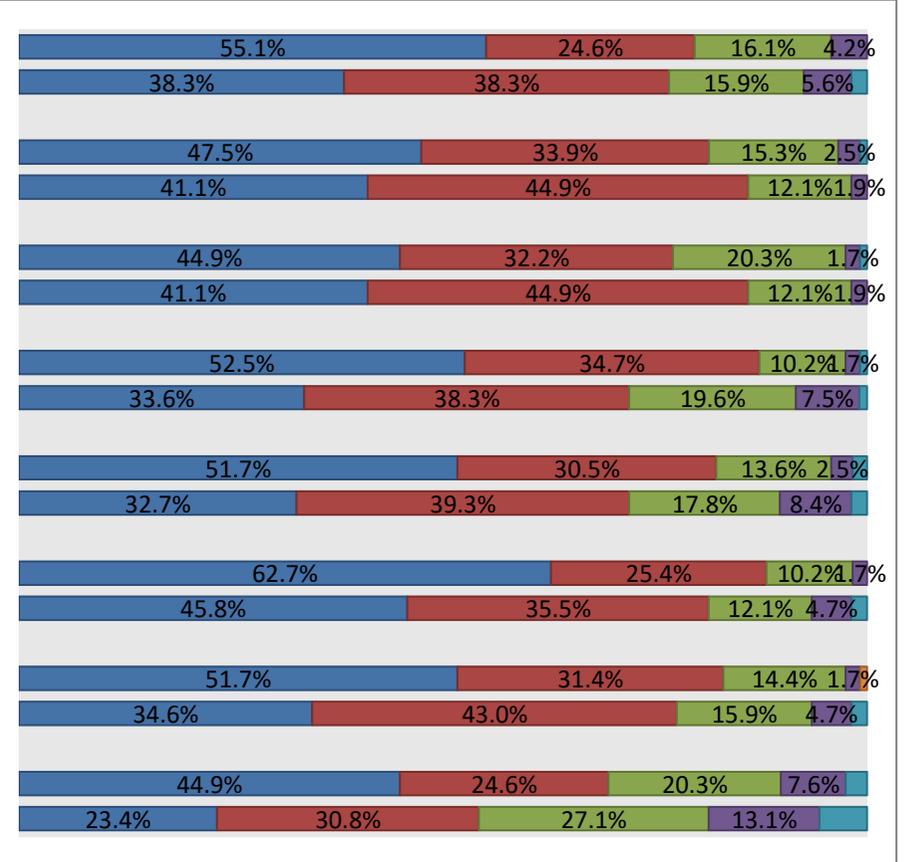
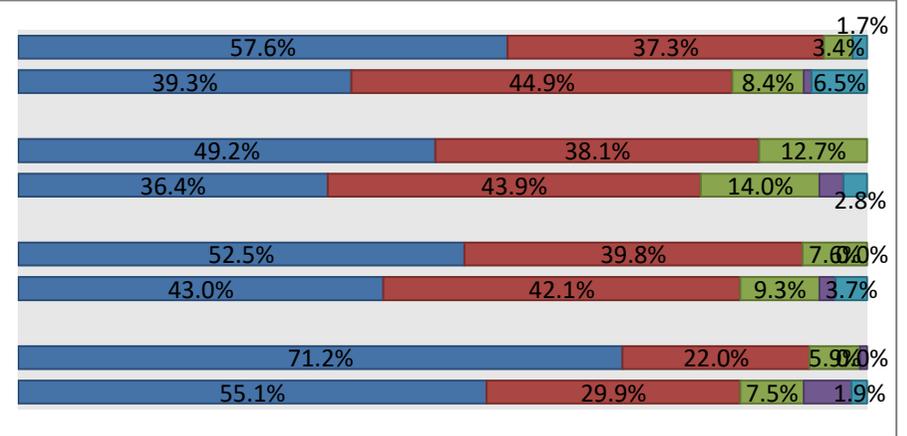
《カリキュラム編成について》

- 1 授業科目には本学の建学の精神、教育理念、教育目的・目標が反映されていた
- 2 授業科目は理解しやすい（学びやすい）順序であった
- 3 カリキュラムはそれぞれの科目の特性が活かされた編成であった
- 4 選択科目は思い通りに選んで履修する事ができた

《カリキュラムの運用について》

- 1 教室（講義室）の広さは適切であった
- 2 受講するクラスの人数は適切であった
- 3 教室の環境（冷暖房、机、いす、視聴覚機器等）は適切であった
- 4 試験期間の設定・時期は適切であった
- 5 1日に実施する試験科目数は適切であった
- 6 科目選択時にはシラバスの内容を確認して活用した
- 7 学生による授業評価は、自分なりに講義について振り返るなどして正確に行っていた
- 8 授業内容についての質問などで教員のオフィスアワーを活用した

上段…令和元年度
下段…平成30年度

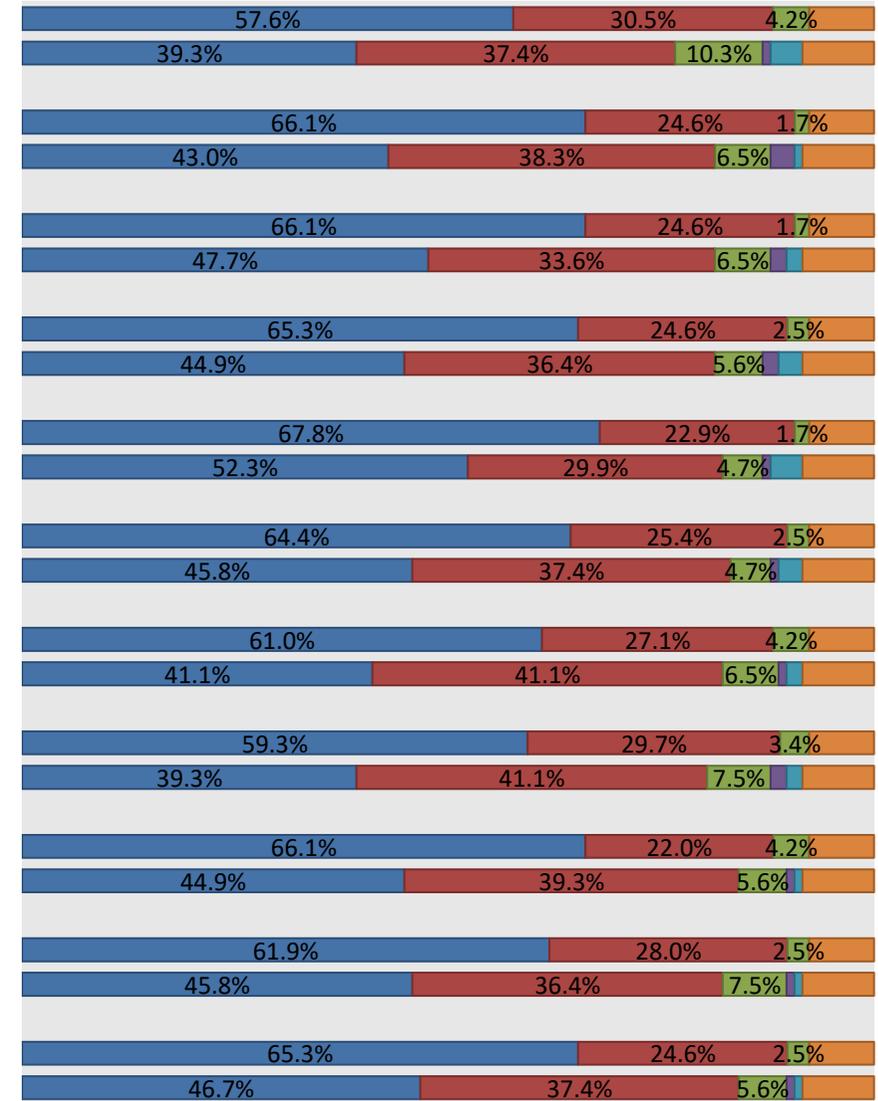


■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ まったくそう思わない ■ わからない ■ 未回答

《DPについて》

- 1 多様な価値観や文化的背景を持つ人々と向き合う力を養うための幅広い教養を身につけることができた
- 2 看護に必要な専門的知識を身につけることができた
- 3 看護実践に求められるマネジメント能力の必要性を理解できた
- 4 人間を統合的に捉え、人々の健康と生活の質を高める看護を実践できる基礎的能力を身につけることができた
- 5 保健・医療・福祉関連分野の動向に関心を寄せ、看護のあり方を理解できた
- 6 専門職として生涯にわたり主体的に学び続ける姿勢を身につけることができた
- 7 赤十字の基本原則を理解し、人間の尊厳と権利を尊重し擁護する姿勢を身につけることができた
- 8 地域の人々の保健医療課題を積極的・自発的に解決しようとする能力を身につけることができた
- 9 看護者として、責任ある行動がとれる能力を身につけることができた
- 10 対象に必要な看護ケアを科学的根拠に基づき安全に実施するための技術を身につけることができた
- 11 地域住民、患者、家族、保健・医療・福祉に関わる人々と連携・協働するために必要な、相手の立場を尊重したコミュニケーション能力を身につけることができた

上段…平成30年度
下段…平成29年度



■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ まったくそう思わない ■ わからない ■ 未回答

記述1(カリキュラム運用・編成について)

- 1 形態機能学の内容を国試や看護に活かせる授業内容にしてほしいです。
- 2 1年の内容が詰め込まれすぎて十分な勉強ができなかった。
- 3 段階的にはなっていたが、たまに順序を逆にした方が良いのでは?と思う科目があった。(具体的には覚えていませんが…)
- 4 メールでアポを取り質問するよりも直接行った方が早い時があった。
- 5 1年生の時のテストが過密スケジュールすぎて大変だった。
- 6 何度も実習を遅刻・欠席する人に簡単に単位をあげるのはどうかと思う。真面目にしっかりやっている人からすると、モチベーションに関わると思う。
- 7 1. 2年の試験日が集中していきつかった。
- 8 人数と教室の広さが比例していない。冷暖房の設定が極端。
- 9 1. 2年生の時に、どのように選択科目をとって良いかわからず、多く科目をとってしまうことがあった。
- 10 暖房が効きすぎて暑いことが多くあった。
授業で使用しない教科書が減ると嬉しいです。購入しても一度も開かないまま授業が終了した科目があったので、少し寂しく思いました。ただ、先生方はきちんとしたまとまったレジュメを作っておいたので内容はわかりやすく助かりました。
- 12 時々冷暖房の調節が合わず、衣類の調整だけでは間に合わないこともあったので、全員に合わせるのには難しいと思いますが、改善していただけたらもっと過ごしやすいです。
- 13 カリキュラム編成は、学びやすい順序だったので良かった。
- 14 1. 2年次は、1日に多くの科目が入っていたことがあり、少し大変だった。
- 15 満身に学びました。
- 16 選択しやすいカリキュラムだった。
- 17 試験期間は特に問題なかった。
- 18 授業で使用しない教材は買いたくなかった。一度も使用しなかった。
- 19 わかりやすい順序で授業が組まれていて良かったです。
- 20 授業科目に日赤特有のものがあってよかった。(赤十字概論など)
- 21 152講義室は学年の人数に対し狭いと感じた。